

名前：

今までの大衆メディアは一方的に伝達の役割  
 りをしてきた。それで受け入れる方の意見は  
 反映できなく、できるとしても新聞の読者の  
 意見のように長い文を書いて新聞に乗せると  
 いうかわざらわしい方法でその内容に対する考  
 えを表してきた。しかし、インターネットは  
 新聞やテレビ番組に対して視聴者が声を出  
 せる空間を提供している。  
 今インターネットではニュースや雑誌などの  
 紙に書かれていたものをさまざまなコンピュ  
 ーターの機能を使って自由に編集したり、相  
 手に手安く見せられる。また、自分に必要な  
 部分だけを探して読めるので時間も縮めるこ  
 とができる。韓国で地下鉄で無料でくばって  
 くれた新聞の数は、抛理の問題や資源の問題  
 で減っているが、電子新聞や雑誌であればこ  
 ういう問題は起こらない。また、新聞の記事  
 や雑誌にエディズンがいろいろコメントして  
 くれるので知らないうちに、たことや私が見逃がし  
 た部分、私と反対意見を持っている人の考え

をチェックすることができるので役に立つ。  
 もちろん、画面を見るのは目に悪いし、有害  
 な情報も多いのは事実である。しかし、ネッ  
 ト上で新聞や雑誌が既存の紙のメディアの  
 役割りを十分にやり替えている以上、紙のメ  
 ディアが必ず必要とも言えない。むしろ、  
 言論の自由が限られている新聞や雑誌よりネ  
 ット上で自由に話しながら一言でも自分の意  
 見を広げることが重要ではないかと思う。  
 今はケータイでインターネットができる時代  
 になっただけ紙の新聞や雑誌にこだわる必要  
 はない。今までの一方的なメディアから離れ  
 て主観的に考える力を育っていくインターネットの  
 ニュースを教育資料に使ったり、活  
 用すると今までのより得られるものが多いと  
 思う。  
 急に変わる世の中の変化を見せる部分であって  
 紙の新聞がなくなると悲しくなるとは思いますが、  
 その時代に適応していくことも大事だと思う  
 のだ。

1800字